

特別研究助成 成果報告

コロナ禍における国際学生交流プロジェクト（第二回）についての報告
（マンハイム専門大学、成安造形大学）

Report on the Second International Student Communication Project via making
ZINE by Hochschule Mannheim and Seian University of Art and design

MON
MON

コロナ禍における国際学生交流プロジェクト（第二回）についての報告 （マンハイム専門大学、成安造形大学）

Report on the Second International Student Communication Project via making ZINE by Hochschule Mannheim and Seian University of Art and design

MON
MON

教授（イラストレーション、出版、ZINE、企画編集）

This is the second international art and communication project of exhibition and exchange of zines made by students from Hochschule Mannheim and Seian Univ. of Art and Design.

This project started as an attempt to exchange students between Japan and Germany during the pandemic.

Under the COVID19 pandemic, human movement has still been limited, but 'data, things' can move freely. Data moves in the digital world, real things move in the real world.

For this project, zines are made via digital data, then printed by human hands using real paper and ink. Participants will get their real paper zines, exchange their expressions, communicate and inspire each other.

1. 趣旨（前年と同様）

成安造形大学とマンハイム専門大学とは提携校の関係にある。MONは2019年春にマンハイムより教員と学生が訪日した際、京都のコロタイプ印刷会社（便利堂）の見学、大阪のリソグラフ専門の印刷会社（レトロ印刷）、山科の本藍染色工房見学と体験ワークショップのアレンジとアテンド、また、成安造形大学において双方の学生がテーマごとにその場でZINEを制作印刷製本するワークショップを行った。

以降教員相互の交流が続いていたが、コロナ禍で世界中で対面授業ができないこととなっていた2020年末（成安造形大学では2020年夏より部分的に対面授業が復活していたとはいえ）、マンハイムから、ドイツ、トルコ、イタリア、イギリス、日本をZoomで結んで学生が発表しコミュニケーションや発表の機会をもつプロジェクトの参加のオファーがあった。Zoomでの共同ミーティングの参加をしたものの、時期的に日本から学生個人参加をアレンジする時間がとれず、日本からはMONより2021年1月に開催された成安造形大学卒業制作展のビデオ配信参加をするにとどまらざるを得なかった。当時、世界中でなにかできないかと様々な試みがもたれ始めていたと思う。

2021年春、ZoomやSNSなどのデジタル空間でのコミュニケーションと展示というリアルなコミュニケーション、データ送信とい

うデジタル技術と紙に印刷というリアルな発表形態、瞬時にやりとりのできるデジタル送信と印刷物を人の手で運ぶ時間、などを組み合わせたプロジェクトができないかと考え、2021年度、成安造形大学特別助成金を得て、このプロジェクトを開催することとなった。(ここまで前年度引用)

2022年、学生どうし、大学どうしの交流を続けようと、二回目を開催することとなった。

2. プロジェクト

- ・プロジェクト概要は以下である(2022年度プロジェクト発表時広報使用テキスト)。

この国際プロジェクトでは、滋賀県・成安造形大学の学生とドイツ・マンハイム専門大学の学生が、リソグラフ印刷で1～2色の折りZINE(後述)を製作し、大阪レトロ印刷ギャラリー、成安造形大学内ギャラリー、ドイツ・マンハイムにて展示後、全て学生がそれぞれ自身のzine10部と、他学生全員のzineを受け取ります。

zine=ジンとは、個人またはチームが制作する自由な自費出版冊子のことです。

コロナ禍において人の移動はまだまだ制限されたままですが、「データ」「もの」の移動は自由です。

「データ」と「もの」移動、両方の特徴を利用し、最終的に、参加者全員の表現成果物であるリアルなもの=印刷物が、参加者全員それぞれの手元に届けられる交流を試みます。

ドイツと日本からデータで製作され、インターネットで瞬時に印刷所に送られたアートワークが、人の手によってリアルな紙とインクで印刷されたzineとなり、リアル世界の展示を経て、それぞれ参加者のもとへ、航空機、車、あるいは列車、人の手で運ばれます。

データも、ものとしての印刷物も、表現も、それぞれの時間をかけて、それぞれの世界で旅をすることになります。そして、参加者は印刷物を受け取り、リアルな紙の手触りとインクの匂いを感じ、他者の表現に触れるのです。

参加者はまた受け取った自分のzineを、例えばリアルやオンラインで、だれかに送る、あげる、そっと置いておく、販売をするなど、ここからまた自分の表現物による交流を考えます。

This is the international art and communication project of exhibition and exchange of zines made by students from Hochschule Mannheim and Seian Univ. of Art and Design.

Under the COVID19 pandemic, human movement has still been limited, but 'data things' can move freely. Data moves in the digital world, real things move in the real world.

For this project, zines are made via digital data, then printed by human hands using real paper and ink. Participants will get their real paper zines, exchange their expressions, communicate and inspire each other.

Student makes a 8 page postcard size zine - folded from A3 paper, printed by Risograph using 1 or 2 ink colors.

After exhibitions in Osaka, Shiga and Mannheim, each student will receive 10 copies of their own zines and 1 each of every other student's zine.

There are waiting times to get the zines brought by airplanes, vehicles and humans, then they eventually will be able to touch real paper, smell real ink, which is a real experience.

・学生への募集告知は以下とした（2022年9月1日）

=====

2022-2023 ZINE 表現リアル & デジタル国際交流 vol.2

ZINE VOYAGE —Real And Digital—

2022-2023 International Exchange And Communication via Making Zines

参加学生募集

Call for participation

=====

日独 ZINE プロジェクトに参加する学生を募集します。

Call for Participation! Join the STUDENT ZINE EXCHANGE PROJECT (Germany and Japan)

・日独の学生が、A3片面印刷からポストカードサイズ(A6)8ページの折り ZINE を製作。大阪、滋賀、ドイツ・マンハイムにて展示をします。

今年度は日独それぞれ上限 20 名（合計 40 名）、はじめて参加する学生に限ります。

Students from Germany and Japan make their own (folded postcard size zine) (from A3 paper) printed by RISOGRAPH. Zines will be exhibited at Osaka, Shiga and Mannheim.

This year, this project is open for 40 students (20 from Germany, 20 from Japan.)

・日本の参加者→定員 20 名

まずは以下のフォームにて申請をしてください。



画像 1 届いた印刷物

20名は先着順となります。定員を超えたタイミングでフォームを締め、アナウンスをします。参加決定者には別途メールでマニュアルやテンプレートを送ります。

参加決定者は、9/24 (予定) に Zoom でドイツと日本をつないだワークショップに参加、その後各自でデータ作成、レトロ印刷に各自入稿します (心配点がある場合、大学で MON に聞いていただけます)。



画像2 フライヤー (Suna Kotan)

- ・ For German students → 20 students
- apply from the form and wait for an announcement from the teacher.
- 22. 8. announcement, students can start sending designs
- 24. 9. Workshop
- 24. 10. deadline for the application designs
- 24. - 29. 10. we choose the best 20 and tell them to finally upload the designs to JAM
- 11. 11. deadline for the upload to JAM

=====

- ・ ZINE はリソグラフで印刷します (レトロ印刷 JAM)
- Zines will be printed by RISOGRAPH (RETRO PRINT JAM/ printer in Japan)
- about paper and inks you can use, see attached pictures.

レトロ印刷 JAM

<https://retroinsatsu.com/>

- ・ 使える紙は1種類です (データをレトロ印刷に提出するときに指定してください)。

You can use 1 of the papers you want. Select one when you submit data to JAM.

- ・ 印刷色は、1色もしくは2色 (データをレトロ印刷に提出するときに指定してください)。

You can use 1 ink color or 2 ink colors. Select one or two when you submit data to JAM.

- ・ 印刷代、参加費は無料です。画材などは全て個人負担。
No money needed (printing, handling, mailing) at all, but your art supply.

- ・ 内容や言語は自由です。差別的表現は禁止されています。
It is free to use any language, what to draw or write. Hate and discrimination expressions are prohibited.

* 展示 exhibitions



画像3 フライヤーは折りたたんで ZINE として楽しむことができる



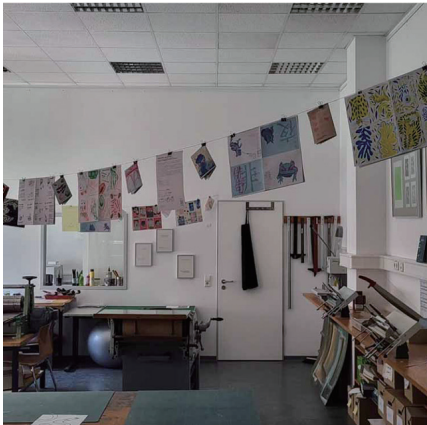
画像4 成安造形大学スパイラルギャラリーでの展示1



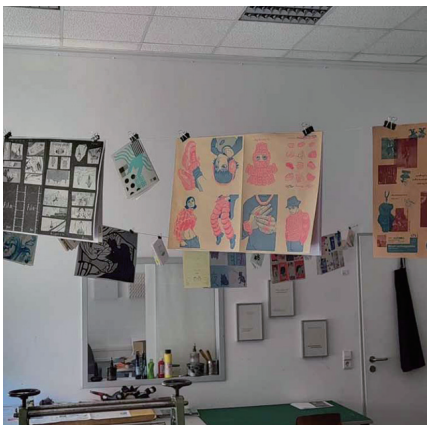
画像5 同上



画像6 レトロ印刷ギャラリーにて展示



画像7 マンハイム学内での展示



画像8 同上

年末～年始の予定 2022~2023 date undecided

- ・レトロ印刷 JAM ギャラリースペースで展示 (大阪・中津)
exhibition at RETRO PRINT JAM Gallery, Osaka Japan
- ・成安造形大学内スパイラルギャラリー展示
exhibition at SEIAN University of Art and Design Spiral Gallery, Shiga Japan
- ・ドイツでの展示
exhibition in Mannheim Germany
- ・展示終了後、参加者全員それぞれ自身の zine10 部と、他学生全員の zine を受け取ります。

After exhibitions, each student will receive 10 copies of their own zine and 1 each of every other student's zine.

* 昨年の様子はこちらで見てください。

You can see how it was like last year.

Instagram → <https://www.instagram.com/zinevoyage/>

Twitter → <https://twitter.com/zinevoyage>

=====

マンハイム専門大学

The Hochschule Mannheim

Martin Kim m.kim@hs-mannheim.de

Nadine Zimmer n.zimmer@hs-mannheim.de

成安造形大学イラストレーション領域

Seian Univ. of Art and Design

MON monmon@seian.jp

・本年度はマンハイムでは担当教員の正規授業内での制作であった。日本では領域を問わず、自由意志での参加とした。

・予定どおり、9月24日(土)17時(日本時間)にZoomでドイツと日本をつなぎ、概要の説明や、折りZINEを作る流れのワークショップ(各自A3の紙とはさみなどを用意し、実際の作り方を確認する)、リソグラフ印刷での版下の作り方やテンプレートの解説、質疑応答などを行った(MON担当)。ワークショップは録画され、欠席学生は視聴できることとした。

・日本の学生には、10/1に改めてデータの作り方解説を配信した。

・10/16よりレトロ印刷JAMにて入稿受付開始。

・本年度のフライヤーはマンハイムの学生が担当した。(画像2,3)

・マンハイムでは正規授業としてこのプロジェクトを運用しており、内容は教員チェックなどを経て、学生各自の入稿となった。

・英語でのデータ作りの解説など、レトロ印刷のスタッフにも協力を得、データチェックはすべてレトロ印刷のオペレーターがあたり、ドイツ向けには英語で対応いただいた。



画像9 マンハイムのギャラリー kunstverein neckar odenwald での展示



画像10 同上



画像11 同上



画像12 現地新聞にて紹介された

3. 発表

展示は、成安造形大学スパイラルギャラリーにて1月13日～、レトロ印刷ギャラリーにて1月18日～29日の日程で開催した。(画像4,5)(画像6)

マンハイムでは8月(マンハイム学内)と9月(ギャラリー kunstverein neckar odenwald)にて展示が開催され、その様子は現地の新聞でも紹介された。(画像7,8)(画像9,10,11)(画像12)

リアル展示とともに、SNS(Instagram)にて、会場の様子の配信、それぞれのzineの画像紹介などを行った。

4. 手応えについて

前年度に引き続き、学生の制作物の内容も多岐にわたっており、日独交流を考えた内容も見受けられた(ドイツの学生による、芭蕉の俳句をイラストにしたものなど)。

2023年度は交流プロジェクトとしての開催は見送ったが、マンハイムでは引き続き正規授業として、リソグラフを利用した折りzine制作の授業を行っており、レトロ印刷印刷JAMでの印刷に関してMONがアテンドをつとめることとなり、交流は続いている。

また、前年・本年と続けて参加したマンハイムの学生二人が、2023年度前期、交換留学の制度を利用し成安造形大学にて学んだ(イラストレーション領域と情報デザイン領域)。

Instagram <https://www.instagram.com/zinevoyage/>